

新潟県胎内市 建築会社「皆建」

放棄地でコケ生産

新潟県胎内市の建築会社「皆建」が、緑化事業と位置付けるスナゴケ生産を拡大している。同社は、需要の増加を見込み、6月に地元で耕作放棄地50㌥を新規で借り

た。生産規模は計2㌥に広がった。

同社は10年ほど前にスナゴケ生産を始めた。不織布にコケを吹き付けて育てる技術を開発し、安定生産につなげた。コケを吹き付けた不織布ロー

ルは、遮光幕で覆うなどして1年ほど養生する。その後、コケを摘み取って防草シートに吹き付けて商品として出荷する。スナゴケは、国道などの緑化などに使う。乾燥に強く、降雨だけで生育し、二酸化炭素の固定に



耕作放棄地でスナゴケ栽培に取り組む建設会社の社員

競馬大会 高ボツ子高原

競馬大会として有名。

外から競走馬をはじめホニー、農耕馬が集ま1周400㌥のコースを走した。

や写真愛好家、地域住民らが来場し、観戦した。休憩時間には馬車が子どもたちを乗せ場内を練り歩いた。

この草競馬は、1952年に旧片丘村（塩尻市片丘）の住民が中心となって農休日

も役立つことから需要が増えているという。ニーズに対応するため同社は耕作放棄地での生産拡大を進める。皆川一二社長は「コケは扱いやすく緑化事業としては今後期待できる分野だ。耕作放棄地の有効利用で地域に貢献していきたい」と話す。



盛り上がったスイカの種飛ばし大会

おいしいスイカ
イベントでPR

長野・JA
松本ハイランド

【長野・松本ハイランド

JA松本ハイランド